

### 市民ネットワーク 2016 年度総会

2月4日(土) 10:00~12:00  
ネットワーク事務所

### 「捨て猫と救われた命の写真展」

2月6日(月)~7日(火) 10:00~16:00  
小手指市民ギャラリーディア  
(小手指駅北口1分)

入場無料

主催 ところねこネット・市民ネットワーク所沢  
里親宅で幸せになった保護猫たち・溝淵和人さん「捨てネコの厳しい現実」・児玉小枝さん「赤ちゃんネコのすくいかた」の3つの写真展です。会場では飼い主のいない猫の相談コーナーも設けます。



### ネットワーク事務所開放日

- \* 1月25日(水) 13:00~15:00  
前半はソフトヨガ講習(橘先生)を行います。椅子に座ってできる優しいヨガです。安心してご参加下さい。後半はおしゃべりタイムです。
- \* 2月25日(土) 13:00~15:00

事務所開放日にはフードドライブを行っています。1ヶ月以上消費期限がある食品の寄付をお待ちしています。

### 味噌作り

2月9日(木) 10:00~  
所沢生活館調理室  
昨年作った無添加の味噌お分けします。



2kg 1200円

申し込み・問い合わせ先 080-6805-2723 (池田)

あとがき

車を走らせていて富士山が見えるとうれしくなります。国道16号線を八王子方面に走ると、宮寺交差点から次の交差点までの間、正面に富士山が現れます。富士山が見えた日は何となくうきうき気分になり、見えなかった日は残念!とってしまいます。お天気の日でも、前の車が大きなトラックやダンパーだったときは視界が遮られて残念!となります。梅雨明けから初冬に見える富士山は雪がなく、あれ?富士山?とってしまいますが、冠雪すると一目でわかり、そのきれいな姿に感激します。

近所の路地の突き当りの家を取り壊され売地の看板が立っている空き地の先に、富士山が見えます。売主には悪いのですが、夕日に映えるきれいな富士山をずっと眺められたらいいなと思っています。

市民ネットワーク 海老澤

### 【お問い合わせ・連絡先】

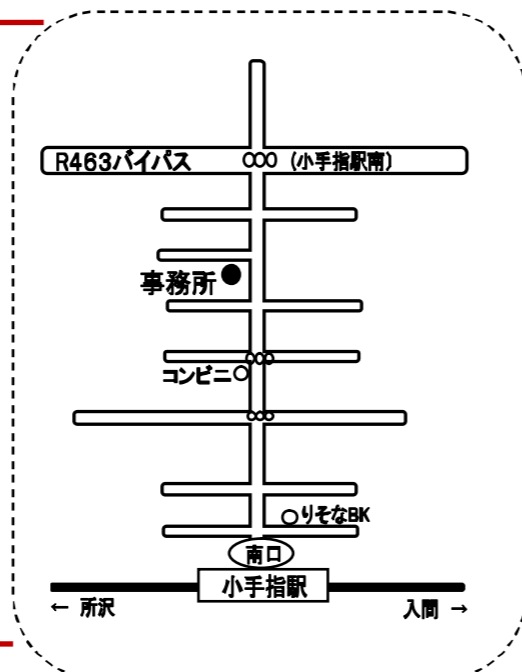
常駐していません。留守電・FAXをお願いします。

住所 〒359-1141 所沢市小手指町4-17-48 光ビル1F

電話・FAX 04-2947-6370

メール prinmint@shore.ocn.ne.jp (末吉)  
cnet-toko@net.email.ne.jp (事務所)

ネットの仲間になって一緒に活動しませんか。  
年会費 1,500円 郵便振替口座 00160-6-179015  
この「つうしん」はボランティアの方が配布しています。  
購読ご希望の方は定期的に郵送します。  
どうぞご連絡ください。



市民ネットワーク <http://tokorozawa-net.com/> NO.83(2017.1)

# ところさわ通信 Net

発行: 市民ネットワーク所沢 〒359-1141 所沢市小手指町4-17-48 光ビル1F-B  
TEL/FAX 04-2947-6370 メール: cnet-toko@net.email.ne.jp



## しっかり監視! 除染土の公共事業再利用STOP!

所沢市議会議員  
末吉美帆子  
(健康福祉常任委員・広聴広報委員)



積み上げられる除染土

東京電力福島第一原発事故によって放出された放射性物質により汚染された廃棄物のうち、放射性濃度1Kgあたり8000ベクレルを超えるものについて、国は「放射性物質汚染対策特措法」によって「指定廃棄物」とし国の責任で処理を進めることとしています。環境省によると指定廃棄物の数量は2016年9月末で全国12都・県で179,177トンとなっています。埼玉県にも下水汚泥焼却灰など8000ベクレルを超えた廃棄物がありますが、指定廃棄物の申請を行っていません。埼玉県によると「早期処分を進めるために敢えて指定を受けずに、各下水処理場で厳重に保管したうえで8000ベクレル以下になったものを順次「廃掃法」に基づき、最終処分場での埋立て処分により適正に処分を行っている」との返答でした。

また、所沢市では8000ベクレルを超える廃棄物はなく、0.23マイクロシーベルトを超え除染した土は10数トンで、「生涯学習推進センター」と「滝の城址公園」の2ヶ所で飛散・流出防止の措置をしながら保管しています。国の動向を見極めながら最終的な処分方法を検討していくとのことですが、放射性物質の管理の基本は濃縮・隔離です。拙速に安易な最終処分を行わないよう管理、監視が引き続き必要と考えます。

2016年6月、環境省は「福島県内の除染によって発生した大量の汚染土を、全国の道路や防潮堤の工事などで再利用する検討をしている。それに先立って南相馬市小高地区で実証実験のモデル事業を行う」と発表しました。南相馬市と環

境省機関に問い合わせましたが「2017年に実証事業を行うための準備をしている」という以外には詳細が不明でした。帰還の目途がなく無人の飯館村、今年春から住民の帰還を目指す浪江町、昨年7月から帰還が始まった南相馬市など福島県内には除染土のフレコンパックの山がうず高く積み重ねられ続いています。全国の公共事業で再利用するという考えは、この大量の汚染土の処理に困っているからでしょう。しかし「放射性物質の処理は濃縮・集中・隔離」が常識です。1月には身内である国の原子力規制庁が「疑義がある」と異例の指摘をしました。濃度を薄めて全国に拡散しようという愚策を決して見過ごしてはなりません。まして常磐線がやっと再開し復興に向けて帰還が始まった南相馬市での実証実験がどんな影響を与えるか不安です。

所沢市は「大量の除染土の公共事業再利用についての国の検討は知っているが、具体的な働きかけはない。市民の安全・安心を第一に考えて対応すべきと考えている」との答弁でした。当然のことです。除染土の処分は国民共通の課題です、しかし、知らないうちに全国の公共事業に使われていたなど決して起こらないようにしっかりと監視していきましょう。

末吉美帆子  
平成 28 年 12 月議会  
一般質問



### 給食費は無償ではないのか？

給食は人件費・水光熱費・維持費は市が負担し、保護者から食材費を「給食費」として徴収しています。小学校 4210 円(1 食 237 円)中学校 4930 円(1 食 290 円)です。総額は約 12 億円で約 1 割世帯が所得により減免で無料になっています。

そもそも給食費を無償にすることはできないのでしょうか。所沢市は中学生以下の医療費は無料で総額は 10～11 億円(所得制限なし)

ペナルティとして国民健康保険の国補助金が約 2000 万円減額されます。しかし補助金が減額されても子ども医療費無料化に取組む自治体が増えているのは、子どもが健康に育ってほしいという子育て支援策だからです。

日本全体として子育て支援策は立ち遅れています。憲法には義務教育の無償が謳われていますが、実際には多額の保護者負担が実態です。払うことが困難な親の苦しみ、徴収や督促の事務処理や苦勞など学校にも数字に表れない多くのストレスがかかっています。市は「予算がない」と言いますが、子どもがますます減少することが予測される中、今後の課題として給食費無償を検討してほしいと思います。

### 困った時には図書館へ行こう

- ・ 図書館海援隊の調査によると、がん患者とご家族が情報収集に図書館を使った割合が6割以上です。インターネット時代でも図書館は大きな信頼を得ています。川崎市立図書館は「リーガーお薦め本の紹介、長崎市立図書館は市立病院と共催でがん講座を開催しています。所沢市でも各部署が図書館の力を生かし連携していくことを要望しました。
- ・ 災害時に大量の本やガラスが凶器にならないよう、点検と避難路確保、わかりやすい表示を求めました。情報発信や居場所として機能を発揮できるのも図書館です。
- ・ 市民に好評な図書コンビニ貸出事業ですが「ファミリーマート小手指店」が店舗の都合で貸出中止になりました。小手指地区には図書館がありません。現在、代替え店舗を調整中です。
- ・ 総務省がマイナンバーカードを図書貸出カードにも使えるようにすると発表しました。統合には課題が多く所沢市は従来の貸出カードを変えない方針です。

### 学校図書館の充実を

昭和 23 年、「学校図書館の手引き」が出され「図書室という方が実態に近いが将来の充実を願って『学校図書館』とする」とあります。学校図書館は子どもが人生で初めて1人で利用する図書館であり教育の場です。この「手引き」は昨年、文科省の会議答申に引用され再認識されました。

現在、中学校 15 校には学校司書が配置されていますが、小学校 32 校は単独配置・2校1人兼務・未配置が混在し不公平感があります。一日も早く全校配置を進めることを求めます。また特別支援学級など障害児支援に図書館のスキルをさらに生かしてほしいと思います。

戦後間もない時代の「学校図書館の手引き」に示された高邁な理念を引き継ぎ、図書館の持つ全ての人の自立支援につながる力を発揮できるよう願っています。

### 重度身体障害者が福祉避難所へ直接避難できるように

重度身体障害者の直接避難について、市は 12 月議会で「皆が押し寄せたら困る」と述べました。一旦全員が地域避難所に集合、障害度合いで必要性判断、福祉避難所立ち上げ、移動という手順です。これは行政側だけの都合でありこの間に排泄や医療的ケアが必要になったらどうするのでしょうか？生命の危険すら感じます。福祉避難所でなければ生活できない方は、事前の災害時要援護者登録で把握可能なはず。市はやっと「直接避難ができるよう調査研究する」と答弁しました。最も弱い方の立場にたって計画策定してほしいと心から願います。

## 報告

### 市民力が社会を変える！！ 「ガラスの天井を破る！」シンポジウム in ミューズ (12/12 開催)

市民ネットワーク・シンポジウム実行委員会主催

森ゆうこ参議院議員から原発再稼働慎重派の米山知事が誕生した新潟県の熱い戦いを、上原公子元国立市長から憲法を守り市民権の社会を目指す必要性が語られ、市民4人の現場からの発表も心を打ちました。私たちの上にある無数のガラスの天井。しかし市民力で破ることができる！と実感できた熱い熱い集会となりました。



## お知らせ

放課後学童クラブ2ヶ所増えました！！

放課後学童クラブの希望者が増え続け、狭隘化・過密化が進んでいます。ずっと要望してきましたが来年度から民設民営クラブが新たに2ヶ所増えます。KIRACCO 小手指(小手指小・北野小区)YMCA クラブ(上新井小・北中小区)です。狭く古い放課後児童クラブの改善についても引き続き取り組んでいきます。

